

Target Skills

プレゼンテーションのタイプとフォーマットを知る

あなたがプレゼンテーションをする際に、まず確認すべきことは「何のためにそのプレゼンテーションをするのか」ということです。たとえば、同じ1つのトピックを選んだとしても、オーディエンスへの情報提供が目的の場合と、オーディエンスを説得するのが目的の場合では、効果的なプレゼンテーションのタイプは異なってくるからです。この章では、このように発表の目的によって使い分ける必要や、目的別に適したプレゼンテーションのタイプやフォーマットを学びましょう。

Warm Up

以下は「情報提供」か「説得」のどちらの目的のプレゼンテーションかを考えてみましょう。

1. A社の製品開発グループが、すでに採択された新しい参加型ゲーム機の企画を同社の会議におけるプレゼンテーションで説明しようとしています。
(情報提供 / 説得)
2. 保健所長が潜在的な喫煙者のいる高校で、喫煙が健康に及ぼす害に関する説明を行い、未成年の喫煙を止めさせるためのプレゼンテーションをしようとしています。
(情報提供 / 説得)
3. A社の営業部員は見本市において、同社によって開発された参加型ゲーム機Waiをライバル社Bの類似のゲーム機Woiと比較しながら、その性能をプレゼンテーションしています。
(情報提供 / 説得)
4. あなたは在日外国人の就労状況の年代別の変遷について、関連学会において発表しようとしています。
(情報提供 / 説得)

Key Points

プレゼンテーションにはその目的によって大きく2つのタイプがあります。

1 Informative Type (情報提供型)

講義や学会発表など、主に一般的なオーディエンスに対して、客観的な情報を提示することが主たる目的のものです。

2 Persuasive Type (説得型)

企業の売り込みや、政治活動、啓蒙・啓発的キャンペーンを行う場合など、他者と比較して一方を勧める場合に、しばしば特定の対象者に対して多用されます。

また、それぞれのタイプには以下のようなフォーマットがあります。

1 Informative Type (情報提供型)

a. Topic-based Format

項目別に列挙して説明する様式

b. Procedural Format

研究成果やその手順を順序立てて説明する様式 (Sequential Format)

時系列で説明する様式 (Chronological Order Format)

c. Spatial Arrangement Format

物体の位置関係を表すのに適した様式

2 Persuasive Type (説得型)

a. Comparative Advantage Format

一方が他方よりも優れていることを説得する様式

b. Problem-solving Format

問題の原因を解明し、解決策を提示する様式

以上のフォーマットはそれぞれが必ずしも独立して使用されるのではなく、複数が混合して使用される場合もあります。それぞれ、一定の様式を備えていますので、あなたのプレゼンテーションの目的をよく認識して、どのようなタイプやどのフォーマットを使えばより効果的なプレゼンテーションができるのかを考えて選ぶことが大切です。

それぞれのタイプやフォーマットには多用される表現にも特徴が見られます。それでは次に、頻出表現を覚えることにしましょう。

Useful Expressions

タイプやフォーマットによって特徴的に頻出する表現があります。

次の表現集は、どのタイプ・フォーマットの頻出表現かを考えてみましょう。

1. first / to begin with / second / next / then / in addition / after... /
before ... / furthermore / besides / finally / etc.

タイプ・フォーマット：()

2. A differs from B / A is more ... than B / on the other hand / in contrast to /
unlike A, B is ... / a difference between A and B is / etc.

タイプ・フォーマット：()

3. in front of / behind / beside / next to / on the left of / between /
on the top of / opposite / across / at the bottom of / in the middle of / etc.

タイプ・フォーマット：()

4. A consists of B / A is characterized by B / A features B* /
A is composed of B / etc.

*BがAの特徴である

タイプ・フォーマット：()

5. A causes B / Because of B / due to A / A is attributable to B** /
A is responsible for B / A leads to B / therefore / A results in B /
how to deal with

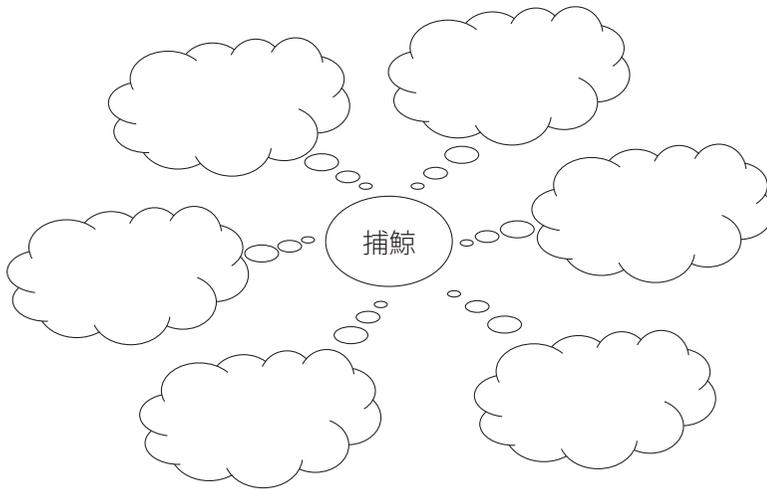
**AはBのせいである

タイプ・フォーマット：()

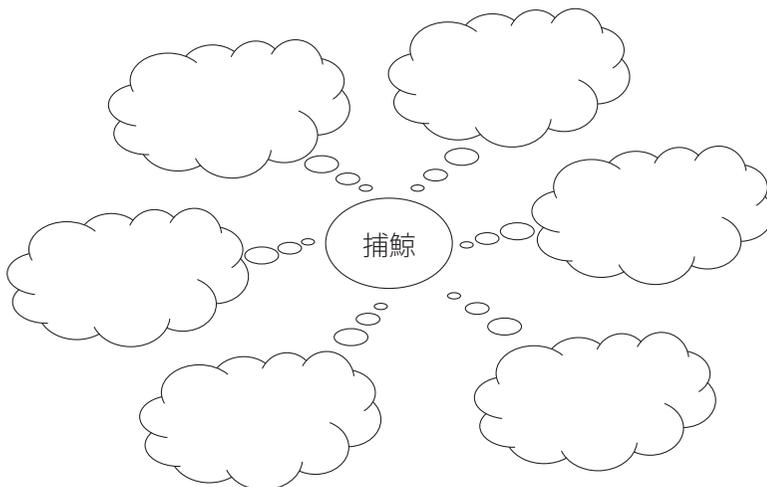
Do It Yourself

- 1 あなたは授業の一環におけるリサーチプロジェクトのトピックとして、「捕鯨」の問題を取り上げました。あなたなら、どちらのタイプの、どのフォーマットでこのトピックのプレゼンテーションを行いますか？ 右下の用語を参考にして、思いつく言葉を自由に下のバブルに入れてバブルをどんどん増やしていきましょう。

【Informative Typeの場合】



【Persuasive Typeの場合】



バブルに入れる 用語の参考

賛成
 反対
 絶滅
 日本の伝統
 水銀を含有
 牛肉
 食文化
 捕獲頭数
 捕鯨国
 生息数
 捕鯨の歴史
 IWC
 (国際捕鯨委員会)
 クジラ肉
 シーシェパード
 海洋資源
 日本叩き
 漁師の生活
 残酷

etc.

2 さて、あなたは捕鯨に対して賛成の立場ですか、それとも反対の立場でしょうか。以下の理由は賛成と反対のどちらの立場をサポートする意見であるかを答え、また、そのためにはどのような客観的情報が必要かを考えましょう。

理 由	賛 否	必要情報
1. 捕鯨は日本の伝統文化であるから、継続すべきである	賛成 / 反対	e.g. 捕鯨の歴史
2. クジラ肉には水銀が蓄積しているから食用にすべきでない	賛成 / 反対	
3. 数が減少しているクジラがいる	賛成 / 反対	
4. 牛や豚はよくてクジラを食べてはいけない理由がない	賛成 / 反対	
5. クジラは高等動物であるにもかかわらず、捕鯨方法が残酷である	賛成 / 反対	
6. シーシェパードは日本に牛肉を輸出しているオーストラリアから資金援助を受けている	賛成 / 反対	
7. 牛・豚は、飼育によって食肉の生産量を管理できるため資源が減少しない	賛成 / 反対	
8. クジラも魚と同じ海洋資源の一つなのだから、捕獲頭数を守って利用すればよい	賛成 / 反対	

Target Skillsの確認

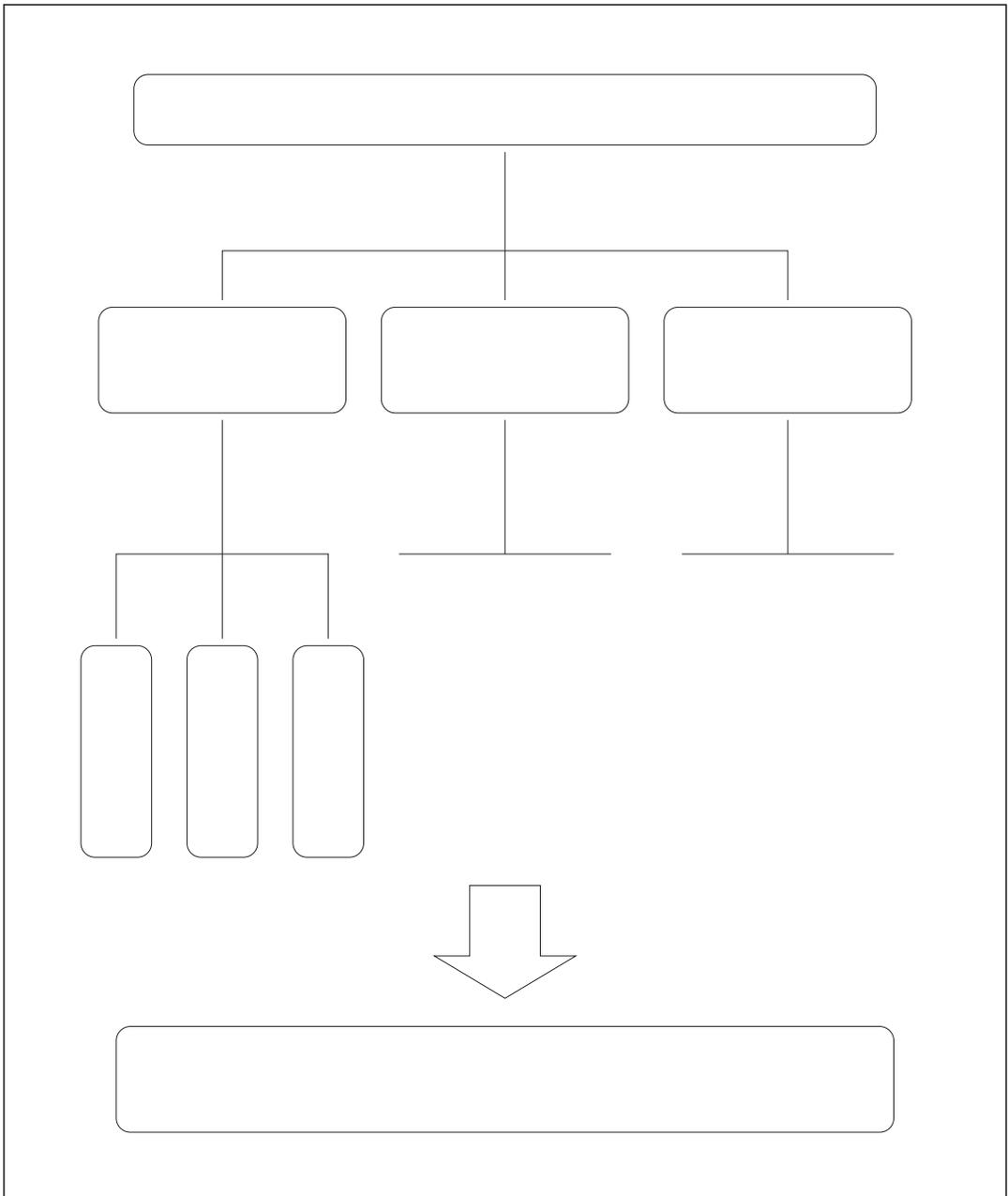
プレゼンテーションのタイプとフォーマットを理解できた。

Keep a Log of Your Own

あなたのプレゼンテーションのタイプとフォーマットを決め簡単なアウトラインをフローチャートで作成しましょう。

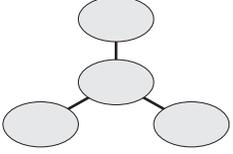
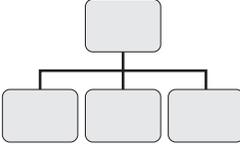
[_____ type _____ format]

Title: _____



Key Points

定型に沿ってアウトラインを作れば、誰でも理論的な発表をすることができます。説得力のあるプレゼンテーションのためには、客観的なデータを提示する必要があります。

Introduction			
司会者・オーディエンスへの挨拶 (Greeting and Opening Remarks) 主題の背景 (Background of the Topic) 本発表の目的 (Statement of the Purpose of Presentation)			
Body			
Persuasive Type		Informative Type 情報提供型	
問題解決	比較対照型		
問題の認識 (Identification of the Problem)  根拠 (Evidences) 例 (Examples) 等	新提案の提示 (Statement of a New Proposal)  根拠 (Evidences) 例 (Examples) 等	時系列／順序による 情報の配置 (Procedural Arrangement) 1st Step  2nd Step  Nth Step	項目別や位置関係 での情報の配置 (Topical / Spatial Arrangement)  
問題の原因 (Causes of the Problem)  根拠 (Evidences) 例 (Examples) 等	旧案の問題 (Problem of the Former State)  根拠 (Evidences) 例 (Examples) 等		
解決策の提案 (Statement of the Proposal) 詳細 (Details)	新提案の利点 (Advantages of the New Proposal) 理論的根拠 (Rationale)		
Conclusion			
結論／まとめ (Summary) 終了の挨拶 (Closing Remarks)			

ここでは Introduction / Body / Conclusion の大まかな流れが分かるように、セクションごとに使える表現を紹介します。選択肢から適切な語を選んで()に入れましょう。

Introduction	
Thank you very much, Prof. ○○.	○○先生、ご紹介有難うございます。
Hi, everyone. I'm from XX University, Japan.	こんにちは。私は日本のXX大学の者です。
Recently, there has been a dramatic rise in ...	近年... が劇的に増加しています。
Although ... took effort in ... , there remains a lot to be desired.	...の取り組みにもかかわらず、まだ改善の余地がかなりあります。
So, here, I'd like to (1.) a possible way to deal with this problem .	ですから、今日は1つの方法をご紹介しますと思います。
This study intends to explore ...	この研究は...を探ることを意図しています。
Let me first (2.) my project.	まず、この研究の概要をお話します。
First, I'm going to show A and B, then, demonstrate ...	最初にA、それからBをお示しし、その後...をご説明いたします。
Body	
To begin with, let me start with section no. 1.	まず、§1から始めましょう。
Prof. YY argued that ... , but ...	YY教授は...だと主張されましたが...
Therefore, I conducted a survey to (3.) ...	それゆえ、...を調べるための調査を実施しました。
This time, I employed the measure because ...	今回、...というわけでこの方法を採用しました。
This line graph shows the result of C and the red solid line represents D of the country.	この折れ線グラフはCの結果で、赤い実線はその国のDを示しています。
Please (4.) thatであることを注目ください。
This clearly indicates that ...	これは明らかに...であることを示しています。
The question is whether ...	問題は...かどうかです。
Judging from the above, ...	以上の点から、...だと判断できます。
Conclusion	
OK, let me (5.) .	では、まとめさせていただきます。
I have concluded thatのように結論を出しました。
Thank you very much for your attention.	ご静聴、ありがとうございました。

選択肢

(a) note (b) investigate (c) summarize (d) outline (e) introduce

Do It Yourself

研究論文の「目次」のように、口頭発表においても PowerPoint スライドのタイトルページの次にコンテンツのページを入れることがよくあります。これからこの発表者は、どのような順序で何を発表するのか、についてのオーディエンスの理解を深めることができるからです。

既存の論文に基づいた口頭発表でなくとも、全体のコンテンツページを事前に作成することによって、構成のしっかりとした発表にまとめていくことができます。また、この段階で発表全体を見通すことによって、どのような資料やデータを補う必要があるのか、論理の飛躍はないかなどを確認することもできるでしょう。

1 あなたは、人口が減少し過疎化が進んでいる実家のある XX 県の町興しのためのプロジェクトを提案しようとしています。以下の条件を読み、キーワードや日本語のヒントを参考にして、このプロジェクトに関するプレゼンテーションの英文のコンテンツを作成してみましょう。

- * XX 県の県民の人口推移についてのデータを調べ、減少を確認。
- * XX 県の人口を増やし、活性化する方法を内外部から多角的に模索。
- * 「ふるさと町興しについて」というアンケートを学内で実施し、故郷に対する若者の意識を調査。
- * 定年後の中高齢者や女性、企業をターゲットにして、集客を企画。
- * プロジェクト案にまとめて、実施可能な提言を行う。

キーワード

町興し regional revitalization	ふるさと hometown	
特徴 characteristics	状況 condition	集客する attract visitors
方策 measures	活性化 rejuvenate	定年退職者 retiree
地域の人々 community	認識 awareness	参加 participation
提言 proposals	参加 participation	企業 institution

CONTENTS

Introduction

1. 町興しとは？（e.g. What is regional Revitalization?）
2. 私のふるさと、XX県（
 - 2-1. 県の特徴（
 - 2-2. 現在の状況と問題（
3. 内部からの活性化方策（
 - 3-1. 地域の人々の認識（
 - 3-2. 学生の参加（
4. 外部からの活性化方策（
 - 4-1. 集客するための提案（
 - 4-1-1. 学生（
 - 4-1-2. 女性と家族（
 - 4-1-3. 定年退職者（
 - 4-2. 企業を引きつけるための提案（

Conclusion

2 次に、どのような客観的データがどこに必要かを考えましょう。

Target Skillsの確認

プレゼンテーションの流れとコンテンツの重要性が理解できた。

Keep a Log of Your Own

あなたのプレゼンテーションのタイプとフォーマットを意識しながら、スライドのコンテンツページを作成しましょう。

[_____ type _____ format]

Title: _____

CONTENTS**Introduction**

1. _____

1-1.

1-2.

•

•

•

2. _____

2-1.

2-2.

•

•

•

3. _____

3-1.

3-2.

3-3.

Conclusion

[_____ type _____ format]

Title: _____

CONTENTS

Introduction

1. _____

1-1.

1-2.

•

•

•

2. _____

2-1.

2-2.

•

•

•

3. _____

3-1.

3-2.

3-3.

Conclusion